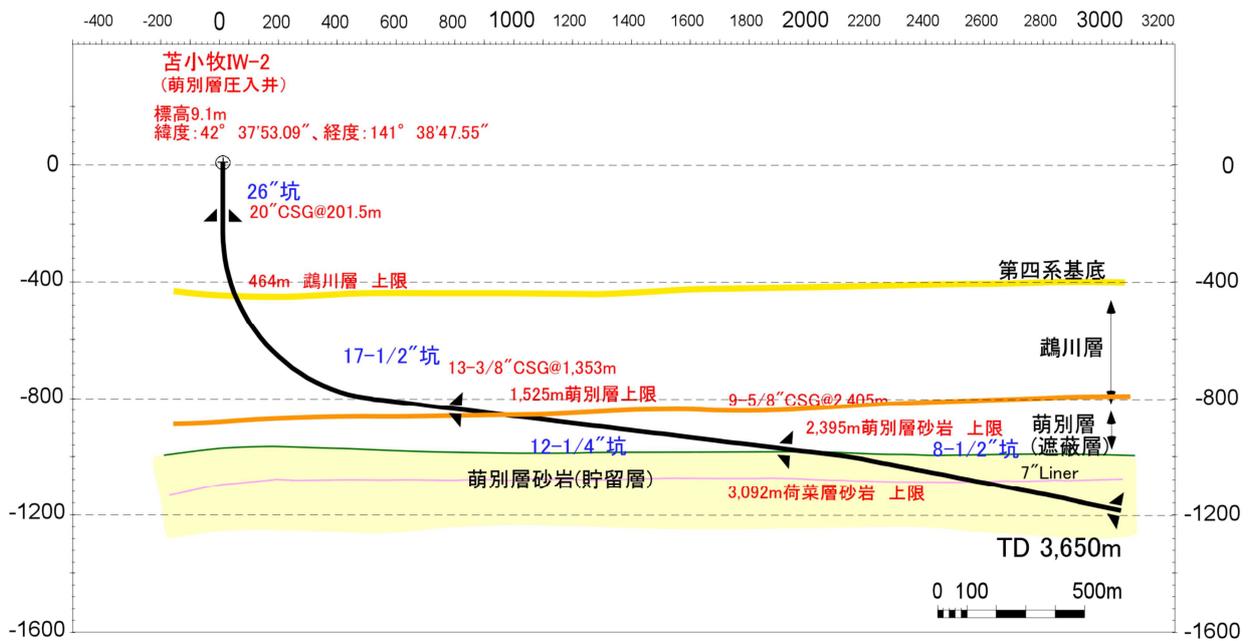
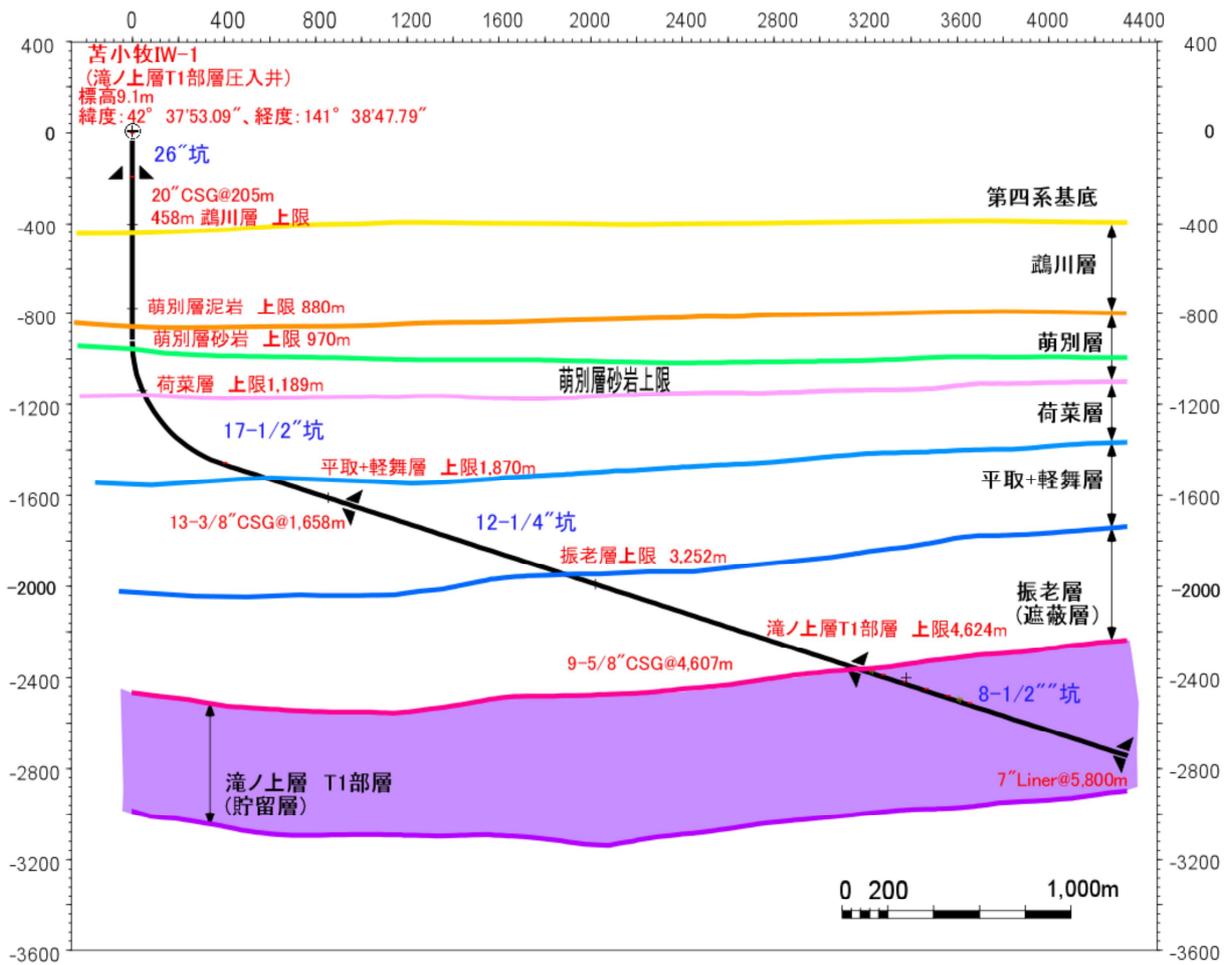




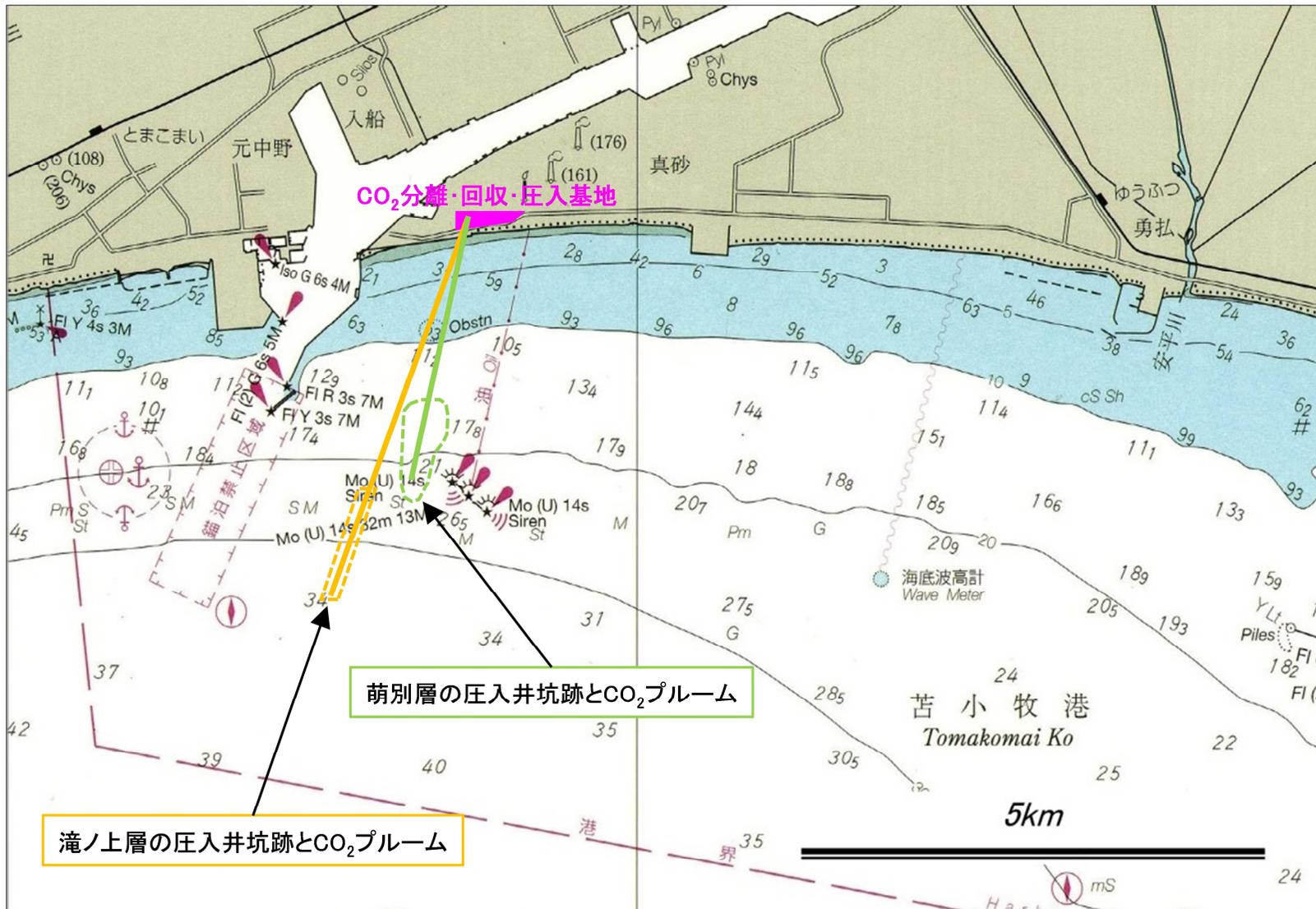
添付図-1 海域の緯度及び経度



注：1. 上段：滝ノ上層圧入井沿いの地質断面図、下段：萌別層圧入井沿いの地質断面図。

2. 滝ノ上層圧入井の水深は31m、海面下深度は2,744m。萌別層圧入井の水深は20m、海面下深度は1,179m。

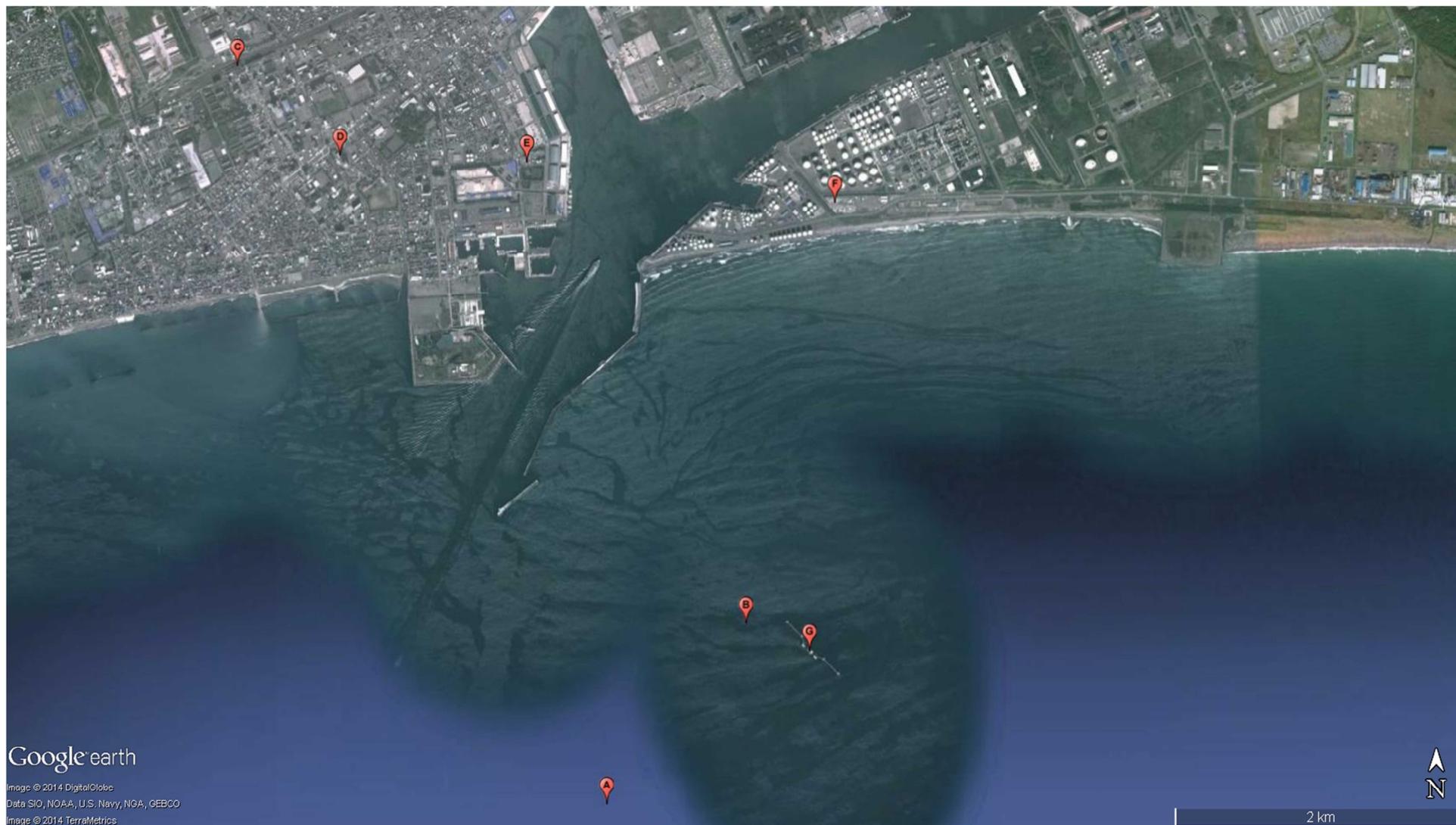
添付図-2 海域の水深及び海底下廃棄をする深度



注：1. 海上保安庁発行の海図（W1034）に加筆。

2. 滝ノ上層圧入井の水深は31m、海面下深度は2,744m。萌別層圧入井の水深は20m、海面下深度は1,179m。

添付図-3 海域の水深及び海底下廃棄をする深度、海底下廃棄をする海域及びその周辺に設置された特定二酸化炭素ガスの海底下廃棄の用に供する設備の場所、海底下廃棄をされた特定二酸化炭素ガスが広がる範囲

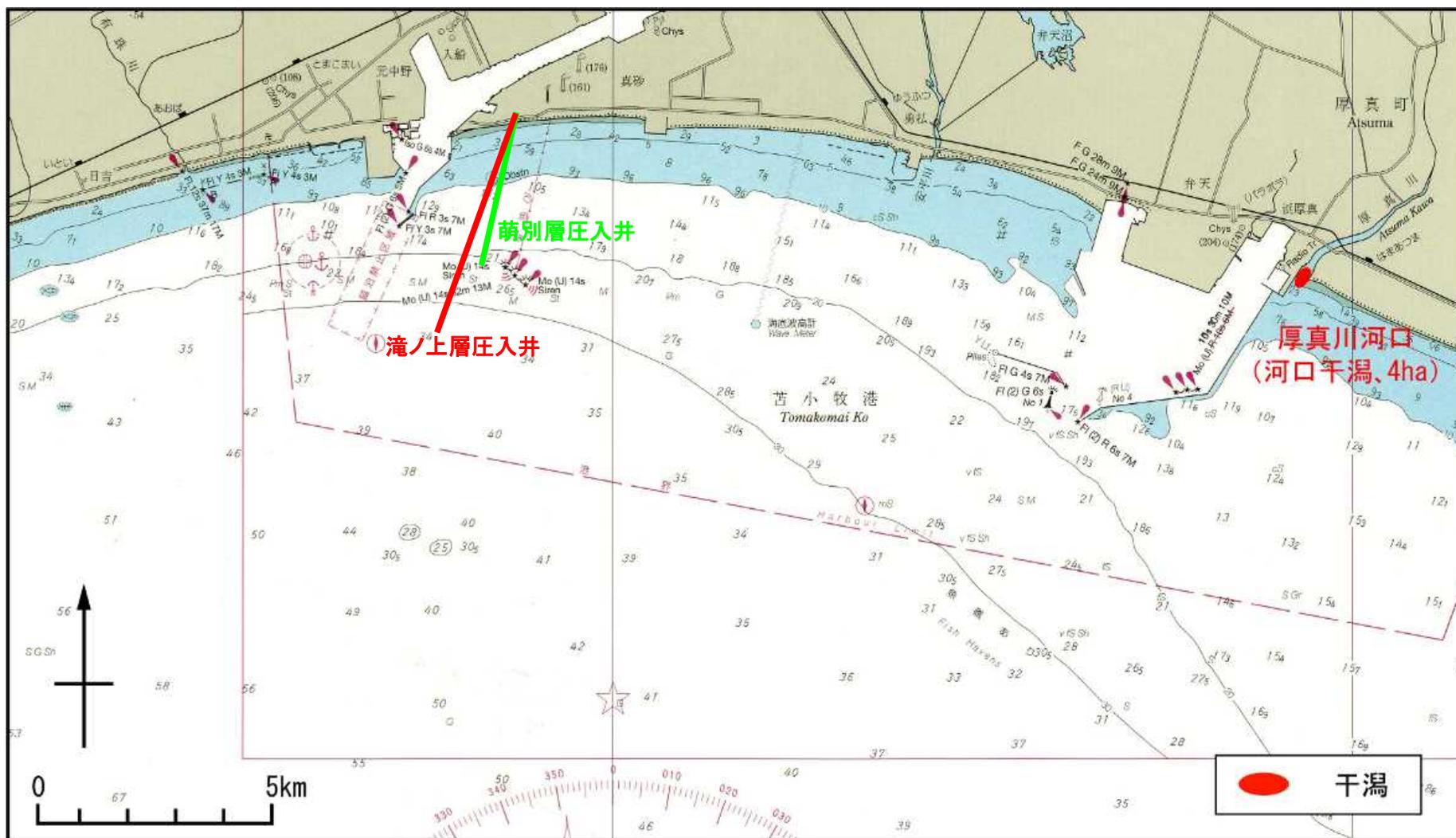


Google earth

Image © 2014 DigitalGlobe
 Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
 Image © 2014 TerraMetrics

- 注：1. Aは滝ノ上層圧入井、Bは萌別層圧入井、CはJR苫小牧駅、Dは苫小牧市役所、Eは苫小牧海上保安署、FはCO₂圧入井坑口、Gは出光興産シーバース。
2. A～C間の地表面直線距離は5.6km、A～D間の地表面直線距離は4.7km、A～E間の地表面直線距離は4.4km、A～F間の地表面直線距離は4.3km、A～G間の地表面直線距離は1.7km。
3. B～C間の地表面直線距離は5.1km、B～D間の地表面直線距離は4.2km、B～E間の地表面直線距離は3.5km、B～F間の地表面直線距離は2.9km、B～G間の地表面直線距離は0.5km。

添付図-4 陸域の主な施設等との位置関係



注：海上保安庁の海図 W1034 をもとに作図。

添付図-5 海底下廃棄をする海域及びその周辺海域における、海洋環境の保全上特に保護を図る必要があるものの所在